



第224回 長崎寄席

# 吉亭志ん松 柳家かゑる

マジック  
ダーク・広和



〔当日プログラム〕

- 一、落語 ●●●●
- 二、落語 柳家かゑる
- 三、落語 吉亭志ん松  
伸入り
- 四、マジック ダーク・広和
- 五、落語 吉亭志ん松
- 六、落語 柳家かゑる

## 2021 7月31日(土)

開場 17:00 開演 18:00

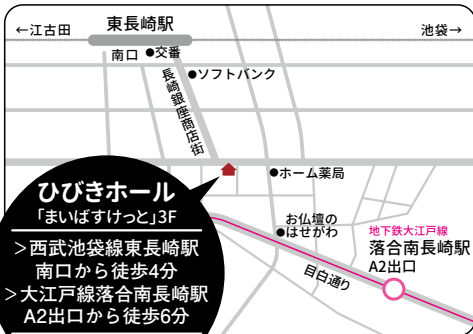
会場 / ひびきホール  
まいばすけっと3F

# 二人会

**当日一般:2,000円**  
**前売り・予約:1,800円**  
**常連会員:1,500円**  
**中・高校生:500円**  
**小学生:無料**

●インターネット  
<http://nagasakiyose.com>  
 上記から「お問い合わせ」をクリック。  
 もしくは右記のQRからアクセスしてください。

●電話  
**☎080-6519-5507** 長崎寄席世話人会(柴田)



ひびきホール  
「まいばすけっと」3F

> 西武池袋線東長崎駅  
南口から徒歩4分  
 > 大江戸線落合南長崎駅  
A2出口から徒歩6分

豊島区南長崎  
5-8-12

## 落語

## 柳家かゑる

やなぎや・かゑる

平成2年6月13日、埼玉県鳩ヶ谷市(現在の川口市)に生まれる。落語との出会いは、中学2年生の時に見た「NHK新人演芸大賞」。噺家になることを決心する。平成19年、高校1年生で柳家獅堂に入門。高校に通いながら、見習いとして、落語の世界に入る。落語、学業の他、柔道部にも所属しており、講道館柔道参段を取る。高校卒業後、前座に。前座名「いっほん」。平成25年、二ツ目昇進、二代目「柳家かゑる」に改名。平成27年、出身地の川口市観光大使に任命される。落語協会所属。

出囃子は「ケロツ」とマーチ、手ぬぐいも蛙模様で鳥獣戯画風の蛙がたくさん描かれている。蛙たちがそれぞれ漫画『ジョジョの奇妙な冒険』の主役ジョジョの決めポーズを取っている。

毎週土曜20時30分より、FM川口「ケロケロウエーブ」に出演中。趣味は柔道、アニソン・特ソン、としまえん。

## 落語

## 古今亭志ん松

ここんてい・しんまつ

千葉県柏市出身。千葉県立我孫子高等学校を経て、法政大学文学部哲学科卒業。落語家になる前は日比谷図書館で司書を目指して働いていた。図書館で、常に全部貸し出されていたのが落語のCD。「そんなに面白いもののかな」と自分も手に取り、初めて聴いた志ん生、馬生のおもしろさをきっかけに、寄席に通いだした。落語家になろうと思って思い浮かんだのが師匠の志ん橋だった。

2009(平成21)年4月、古今亭志ん橋に入門。2009(平成21)年11月、前座となる。前座名は「きょう介」。2014(平成26)年6月11日、二ツ目に昇進。「古今亭志ん松」と改名。

古典持ちネタ五年で百席目指す「古今亭志ん松落語会」など勉強会を開催している。

## マジック

## ダーク・広和

だーく・ひろかず

小学校3年生の頃からマジックに興味を持ち、高校時代より本格的にマジックンとしての活動を開始する。多くの舞台経験を積むと同時に、松旭斎ひろこ師匠のアシスタントを務め、プロマジシャンとしての基礎を築く。高校卒業と同時に、ダーク大和に弟子入りし、4年間の内弟子として生活。

1980年、松竹演芸場にてプロデビュー。2000年に中野ZEROホールで20周年記念リサイタル、2001年に北とぴあ、2002年に国立演芸場でリサイタル開催。同年、上海で開かれた「国際マジックフェスティバル」で、特別賞を受賞。2008年、柳家さん喬門下として落語協会入会。

年1回のペースで新作マジックを公開している。

前回の長崎寄席

柳家小んぶ・三遊亭ぐんま二人会

[第223回 長崎寄席]  
2021年5月29日(土)

- 一、恋根間 玄山 幸吾
- 一、ちりとてちん 柳家小んぶ
- 一、お菊の皿 三遊亭ぐんま
- 一、奇術 和田 奈月
- 一、グロコ奮闘記 三遊亭ぐんま
- 一、臆病源兵衛 柳家小んぶ

世話人だより

■常連会員様も暫定で有料とさせていただいたこと、また、緊急事態宣言下の開催で不安もありましたが、多くの方にお越しいただきました。世話人一同、心からお礼申し上げます。また、今回もインターネット同時配信実験を無料で行いました。会場の雰囲気は伝わったでしょうか。

■さて、開口一番は幸吾さんの「恋根間」。9月に二ツ目昇進を控えた幸吾さん。安定の語り口です。モテるのモテないの、という話が軽妙に繰り広げられました。そしてなかなか歌が上手です。いい声。

■小んぶさんは「ちりとてちん」。知ったかぶり野郎の「竹」に一泡吹かせよう、と

腐った豆腐を「台湾名物ちりとてちん」と言って食べさせるのですが、吐くことも飲み込むこともできずに悶え苦しむ竹の狼狽ぶりが絶品でした。こちらとも思わず胃からなんか上がってきそうでした。

■長崎寄席のご近所、豊島区長崎にお住まいのぐんまさんは「お菊の皿」。祟りも恐れず「番長血屋敷」のお菊の幽霊見物に行く若者連中。出てきたお菊が絶世の美人で、評判が評判を呼び……。お菊の皿数えでは、座布団から立ち上がり、古典の枠を軽々と飛び越えるハイテンションな動きを繰り出しまくるぐんまさん。客先も完全に飲み込まれました。さすが白鳥一門。

■仲入り後の奇術は、和田奈月さん。特筆ものは、後半の赤白の糸引きと金輪の

マジック。引いてない方の糸がつながってないのに引かれる、金輪がつながったり離れたり。最後はたくさんの金輪を組み合わせて次々と何かに見立てていきました。テンポも良く、本当にお見事でした。

■ぐんまさんの二席目は、ご本人の実話で自作の新作「グロコ奮闘記」。名門レスリング部に強制入部した新入生。布団をバックドロップで運ぶなどの修行を経て大会出場したところ、超絶強そうな相手に意外な理由でチャンスが訪れます。そして、ここでもやってくれたよぐんまさん！座布団抱えて高座でバックドロップ!! 一席目以上の興奮と爆笑、もうなんか「いいもの見ました」とした言いようがないですね。

■トリは小んぶさんの二席目、「臆病源兵衛」。ぐんまさんの熱演の後ですから、「やりづらいなあ」。暗闇が死ぬほど怖いが女好きの源兵衛は、兄貴と八五郎に「女が待つてる」ことだまされ夜中に連れ出されます。源兵衛の盛大な怖がりっぷりを、大柄な小んぶさんがぐんまさんに負けずに大騒ぎ、声が枯れて咳き込むほどの熱演でした。後半も小気味良いテンポで、根津が「地獄」と称される色街だったことをかけたきれいなオチで、お開きとなりました。



<<< 長崎寄席Webサイト  
長崎寄席twitter >>>



Webも  
チェック!

# せき・こえ・のどに「浅田飴」

【効能・効果】せき、たん、のどの炎症  
による声がれ・のどのあれ・のどの不  
快感・のどの痛み・のどのはれ



4種類の生薬  
(キキョウ、トコン、マオウ、ニンジン)が  
せき、たん、のどの諸症状に  
効果を発揮します

浅田飴  
アメ / 飴 / 飴

第2類医薬品

これらの医薬品は、薬剤師、登録販売者に相談のうえ、「使用上の注意」をよく読んでお使いください。

<https://www.asadaame.co.jp/> 〒171-0052 東京都豊島区南長崎 3-1-5

福祉に関することでお困りの時は何でもお気軽に  
みんなで支え合う暮らし・みんなの街

地域福祉研究会

## ゆきわりそう



〒171-0052 東京都豊島区南長崎5-21-7

☎03-3565-3859

優良菓子卸

## 柴田商店

小売も始めました

- 菓子袋詰め、進物
- 紀州梅干

豊島区南長崎5-3-13  
☎03-3951-5933  
FAX 03-3951-5483

次回告知

第225回 長崎寄席

# 笑福亭 茶光・三遊亭 遊子

ストリート松浦(ジャグリング) 他

2021 9月25日(土)

開場/17:00 開演/18:00

会場/ひびきホール

まいばすけっと3F

・西武池袋線東長崎駅から徒歩4分

・都営大江戸線落合南長崎駅から徒歩8分

当日一般:2,000円  
前売り・予約:1,800円  
常連会員:1,500円  
中・高校生:500円  
小学生:無料

ご予約方法

●インターネット

<https://nagasakiyose.jimdofree.com/>

上記から「お問い合わせ」をクリック。  
もしくは右記のQRからアクセス  
してください。



●電話

☎080-6519-5507

長崎寄席世話人会(柴田)